

2010年7月13日

報道関係各位

大和ハウス工業株式会社

訃報のお知らせ

弊社 元代表取締役会長 石橋 毅一（いしばし しゅんいち）氏（83歳）が、2010年7月11日（日）午前5時38分、心不全のため大阪市内の病院で逝去いたしました。ここに慎んでお知らせいたしますとともに、故人の遺志により、通夜および葬儀につきましては、近親者のみにて執り行われましたことをご報告いたします。

また、ご供花ご供物等の儀につきましても、固くご辞退しておりますので、あわせてご連絡申し上げます。

記

1. 葬儀告別式 故人の遺志により、近親者にて済ませました。
なお、後日「お別れの会」を予定しておりますが、場所日時等につきましては、決定次第ご連絡申し上げます。
2. 自 宅 故人ならびにご遺族のご意向により非公開とさせていただきます。

以 上

石橋毅一の足跡

石橋毅一は、旧制高知高等学校を卒業後、出身地である奈良県吉野郡の中学校で教鞭を取っていましたが、教頭となっていた1958年8月、大和ハウス工業の創業者である故・石橋信夫に請われ同社に入社、以来、常に社内の中枢にあって、創業者と共に大和ハウスグループの基盤をつくり、発展を推進しました。

1980年には大和ハウス工業の代表取締役社長に就任、「これでよいのか」をスローガンに、良い会社・良い品質を目指して社内の意識改革に取り組みました。コア事業である戸建住宅事業においては、それまでの訪問中心の営業だけでなく、お客さまに当社の拠点に足を運んでいただき、より充実した提案を行う「リビングサロン」制度を考案、現在の営業スタイルの基礎を築きました。また、「総合生活産業」を掲げ、リゾート事業・森林住宅事業・ホームセンター事業など、当社事業の多角化に取り組むとともに、経営の効率化を進めました。

結果、社長在任12年間に亘り、連続して増収増益を果たし、就任初年度（1980年度）に、売上高201,580百万円、経常利益6,563百万円であった当社を、最終年度（1992年度）には、売上高926,167百万円、経常利益87,113百万円と、売上高で約4.6倍、経常利益で約13倍にまで成長させました。

その後、債務超過寸前であったグループ会社、大和団地株式会社の会長に就任、同時に社長に就任した樋口武男（現・大和ハウス工業代表取締役会長兼CEO）と共に同社の再建を果たしました。

また、業界の発展にも積極的に尽力、1994年から2年間、プレハブ建築協会の会長を務めました。1995年1月に発生した阪神淡路大震災の復興にあたりプレハブ業界のトップとして、約5万戸の応急仮設住宅の建設に携わりました。

さらに、建設省建築審議会委員、通産省産業構造審議会臨時委員、通産省生活価値創造住宅技術研究組合理事長として、行政に対する貢献もしました。

加えて、1993年から3年間、大阪商工会議所副会頭を務めた他、関西ニュービジネス協議会会長、奈良県公安委員会委員長を務めるなど、関西を中心とした経済界・地域にも貢献しました。

以上のような功績が認められ、1988年に建設大臣表彰、1989年に藍綬褒章、2005年には旭日重光章を受章しています。

以 上

経歴書 石橋 毅 一

出身地 奈良県吉野郡川上村
生年月日 1927年5月25日

学 歴 1947年 3月 旧制高知高等学校(文科)卒業

職 歴 1947年 4月 吉野郡川上第二中学校教諭
1952年 4月 吉野郡川上第一中学校教頭
1958年 8月 大和ハウス工業株式会社 入社
1966年 5月 同 社 取締役
1968年10月 同 社 常務取締役
1970年 5月 同 社 専務取締役
1976年 6月 同 社 代表取締役副社長
1980年 6月 同 社 代表取締役社長
1992年 6月 同 社 代表取締役会長
1993年 6月 大和団地株式会社 代表取締役会長
1996年 6月 大和ハウス工業株式会社 取締役 (非常勤)
1999年 6月 同 社 取締役を退任
1999年11月 大和団地株式会社 代表取締役会長を退任
2004年 5月 大和ハウス工業株式会社 特別顧問
2007年 6月 同 社 特別顧問を退任

主な公職 1993年 8月～1999年12月 建築審議会 委員(旧建設省)
1993年11月～1996年11月 大阪商工会議所 副会頭
1994年 5月～1996年 5月 社団法人プレハブ建築協会 会長
1994年 5月～1996年 5月 社団法人関西ニュービジネス協議会会長
1994年 9月～1999年 1月 生活価値創造住宅技術研究組合 理事長
(旧通産省)
1995年 8月～1999年 1月 産業構造審議会 臨時委員(旧通産省)
1996年10月～1997年10月 奈良県公安委員会 委員長
1999年10月～2000年10月 同上

賞 罰 1988年 7月 建設大臣表彰受彰
1989年11月 藍綬褒章授章
2005年 4月 旭日重光章授章

樋口武男 大和ハウス工業 代表取締役会長 コメント

石橋穀一さんは、創業者である石橋信夫さんの後任として1980年に社長に就任され、以降お二人が両輪となって引っ張ってくださった12年間は、大和ハウスグループにとって大きな成長期でした。

また、私がグループ企業の大和団地の社長を務めた際は、会長として共に同社の再建に当たりながら、私を経営者として育てていただきました。

創業者を剛とすれば、石橋穀一さんは柔の方であり、創業者とは違った切り口で多くの示唆に富む教訓をいただきましたことに対し、大変感謝しております。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

村上健治 大和ハウス工業 代表取締役社長 コメント

石橋穀一さんには、私が初めて事業所長を拝命した高知営業所時代に、社長として直接ご指導いただきました。柔らかい口調の中にも示唆に富んだお話が多く、そのたびに私達は喜びを感じ、勇気づけられ、心に火が点いたことを覚えています。

社長に就任された際には、「エクセレントカンパニーを目指そう!」と、率先垂範して取組まれていました。石橋穀一さんから受けた数々の教えを心の支えとし、より社会に貢献できる企業に育てるべく、役職員が一丸となって取組んでまいります。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

以 上

